

>> 研修センター通信 <<

皆さん、あけましておめでとうございます。

◆ 医師臨床研修の修了 ◆

医師免許を取得し大学の医学部を卒業すると、新年度4月から、内定先の病院での臨床研修がスタートします。医師の臨床研修は2004年に法律で2年間と義務づけられました。新年明けたばかりのこの時期ですが、実は、2年次の研修医たちは、この2年間のいわゆる初期臨床研修の修了に向け大詰めを迎えます。

研修修了の判定は、厚生労働省の定める「臨床研修の到達目標」に基づいて行われます。この「臨床研修の到達目標」は、「医療人として必要な基本姿勢・態度」、「経験すべき診察法・検査・手技」、「経験すべき症状・病態・疾患」、「特定の医療現場の経験」といった大項目それぞれの中に履修項目が細かく設定されており、小項目に及んでは、実に、250以上もの項目があります。ある項目については評価表を用いた評価であったり、ある項目については記録表に記録された履修実績、またある項目についてはレポートを提出したりと、こうした様々な研修記録との照合を行います。

また、この時期は、初期臨床研修修了後に希望する専門診療分野への進路を決める、大切な時期でもあります。基本的には、各診療分野に向けて、より専門的な研修を

進めて行く後期臨床研修医や専修医として、大半が進んでいきます。引き続き院内で研修する者、院外に出て新しい環境の中で研修する者に分かれていますが、違う環境にあっても、同期の繋がりは以降も続いて行くものようです。

◆ フロリダ大学 スタイン先生 講義 ◆

当院では、国際的水準の医療をめざした研修医教育を行っています。例年2回、フロリダ大学のスタイン先生によるPOS(Problem Oriented System/患者さんの視点に立ってその患者さんの問題(Problem)を解決する方法)講義が、主に1年次研修医対象に実施されます。去る11月には、今年度2回目の講義が行われました。1名ずつ個別に、約1時間半ずつのプログラムです。そして、当然のことながら、症例の提示や検討、またその解説等に至るまで、スタイン先生とのやりとりは全て英語!臨床研修センターの中では、この1週間、朝から夕方までずっと英語が響きわたります。



～～ 編集後記 ～～

新年あけましておめでとうございます。

暮れに伊勢神宮式年遷宮外宮・内宮特別参拝に参加してきました。外宮の垣内での正式参拝では身も心も引き締まる思いをしました。また、新旧御殿の拝観をして常若(とこわか:常に若いさま)という考えかたを知り、技術の伝承の意味も感じることができました。日常の業務に慢心することなく、これからも、常に新たな知識を求める気持ちで、皆様のお役にたつ情報をフィリア・レターなどでお届けできるように努めたいと思います。(J.A.)

当院の理念

皆さんとの出会いを大切にし、苦しみを分かち合い、健康で潤いある生活を送れるよう職員一同努めます。

当院の基本方針

- ・ 医療の質の向上と安全管理の徹底
- ・ 生命の尊厳の尊重と患者さん中心の医療
- ・ 人間性豊かな医療人の育成と倫理的医療の遂行
- ・ 地域社会との密な連携と信頼される病院の構築
- ・ 災害・救急医療への積極的な貢献と勤労者に相応しい高度医療の提供